

2023年

307号

12月20日

ねんきん越谷

全日本年金者組合越谷支部
 〒343-0845
 埼玉県越谷市南越谷2-13-49
 (越労連内)
 TEL・FAX 048-989-2472
 E-mail keyaki-n@biscuit.ocn.ne.jp



第70回シテイウォーク お江戸日本橋界限を散策

今年は、暑い夏が終わったと思ったら冬の寒さ。

前日の寒さから一日たった12月6日(水)は朝の7時までは小雨が道路を濡らしていましたが、天気予報どおり9時には陽がサンサンと降り注ぐいい天気になりました。

今年最後の第70回シテイウォークは久しぶりに東京の中心地お江戸日本橋界限を歩きました。

9時に新越谷駅の日比谷線上りホーム最後尾に集まったのは吉田健治、丸山やゑ、長谷川昌弘、坂本政明、足立秀機、新井薫、古川正治、島根皓夫、曾我光枝、鈴木とし江、逆井達夫、五十嵐光範、森山久子、川原利雪、深澤汎司、舟山弘子さんの16名、途中で舟山さんの妹の伊藤京子さん

が合流して久しぶりに参加者は10名を大きく超えた17名になりました。

シテイウォークはこのようにお友達などの途中参加もできます。最近では便利になり半蔵門線に乗れば乗り換えなしに三越前駅で降りればもうお江戸日本橋です。



まずは駅から徒歩1分のところにある貨幣博物館へ(入館無料)。私も初めてでしたが参加者の多くも初めてのようでした。ここでは入館時金属探知機によるものものしいチェックがありました。それもそのはず展示室には大判小判がザックザックとはいきませんでしたが、本物の歴代の

の大判、小判が展示されていました。小学校の時に習った700年に日本で製造され流通したといわれる「和同開珎」も本物が展示されていました。展示の中には「一億円」の紙幣を持ってみようのコーナーもあり、参加者は皆「一億円」の重さ(約10Kg)を感じていました。硬貨だけではなく紙幣も展示されており、まだ行ったことのない人は一度行ってみることをおすすめします。貨幣博物館のすぐ傍に三越の日本橋本店があります。シンボルのライオン像には既にクリスマス帽をかぶられています。その横には日本橋川にかかる「日本橋」があります。その傍の広場に「東京市道路元標」があります。これは江戸時代の5街道のルーツになったものです。この前に参加者が並んで記念撮影をしました。そこから15分ほど歩くと兜町です。そこにいたる間、両側は再開発をしているらしく巨大な何台ものクレーンが稼働していました。兜町には東京証券取引所をはじめ、様々な証券会社が立ち並んでいます。この一角にある「坂本町公園」で昼食です。レジャーシートを敷き、持ってきたものを並べているとちやうど昼飯タイム。近所のサラリーマンやおフイスレディがお弁当をもってやってきます。皆ゴザを抱えてやってきます。風もないポカポカ陽気の中、お昼を食べ、ゴザに寝転んで束の間の昼寝をしている人がいっぱいいました。こちらもビール、持ち寄った料理を分け合いおいしくいただきました。帰りに注意書きを読むと芝が痛むのでレジャーシートは使用禁止、公園そなえつけのゴザを使ってくださいと書いてありました。(五十嵐)

点晴

庭で土いじり

しながら思う事

私の庭では例年の冬とは様変わりしています。

夏の日照りにより、苺はほとんど枯れてしまい、また増やそうかと、新たに苗を買って植えた。白菜は種まきをしたがまだ巻き込むまでにならない、やっと大根が食べられるようになり、さやえんどうは少し大きくなり支柱を立てました。土いじりを毎日楽しんでます(12月11日現在)。

温暖化は、自然災害の深刻化や農業・漁業への影響をはじめ、各分野にも重大な被害を及ぼしています。国際情勢と異常気象により、世界的な食料危機が進み、「食料は輸入すればよい」という無責任な考えは通用しなくなっています。食料自給率を38%から大幅に引き上げ、輸入を少なくし、食料主権の回復が必要で

要です。農業所得に占める政府補助金の割合がスイス92・5%、ドイツ77%、フランス64%にたいし、日本が30・2%にすぎない。国の予算で価格保障・所得補償を大幅に増やし、農業を基幹産業として再生することが望まれています。安全な地元農産物を学校給食に活用すること、学校給食の無償化を求める運動も進んでいます。地域農業を支援することで、地域経済を豊かにすることが出来ます。また、食料と再生可能エネルギーの地産地消で地域の産業を豊かにし、地域経済を発展させることが出来るのではないのでしょうか。

年金支給の増額と消費税の減額は地域経済を豊かにします。

(川原)

今年もコロナ感染が続き、インフルエンザの感染が広がっています。身体に気を付けましょう。「ねんきん越谷」一年間のご愛読ありがとうございました。